

shida sousei kaihou

志太創生会報

わたしたちが目指すのは
「志太の未来の創造」

2017.March

発行所

〒426-8722 藤枝市岡上山1-11-1

藤枝市議会「志太創生会」

shida-sousei.jp

info@shida-sousei.jp

編集・制作：平井 登

印刷：株式会社アイコム



理念と指針

志しを太く、市民のために頑張ります。

3つの理念

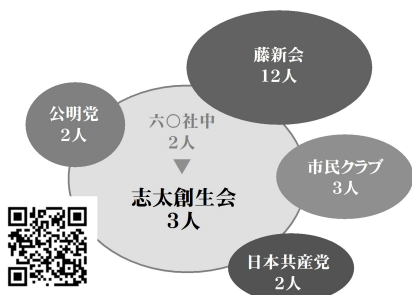
- ① 藤枝市民の描く未来、求める未来を市民とともに創造していきます。
- ② 藤枝市政の発展を市長との適度な緊張関係の中で推進していきます。
- ③ 藤枝市議会の健全なる運営と議員個々の能力向上に努めていきます。

公平公正な判断力と行動力を磨きます。

5つの指針

- ① 市民から選ばれた議員としての立場を忘れず、常に市民の側に立って考え活動します。
- ② 市民の声に耳を傾け、市民に分かりやすい言葉で発言するように努めます。
- ③ 政党や利益団体等に左右・翻弄されない、より多くの市民を見つめる広い視野と判断力を養い、信念をもって行動します。
- ④ 藤枝市の恵まれた環境を市民と一緒に守り育てながら、安全・安心の確保はもとより、魅力あふれるまちづくりを共に行います。
- ⑤ 議員相互の伸長のために、研究と研鑽に励み、会派内外での活発な意見交換や情報収集に努めます。

藤枝市議会の5会派(定数22人)



志太創生会サイトQRコード



左から、遠藤久仁雄(会計) 平井 登(代表) 小林和彦

第16期藤枝市議会議員として、新人でありながら遠藤久仁雄と平井登の2人は、市制60周年にあやかり会派「六〇社中」を結成いたしました。市民目線で新人らしく、ご支援いただくとともに、まに勇気づけられながら遮二無二に議会活動に取り組んでまいりました。

あれから2年半が経過した平成28年11月1日、2期7年目の小林和彦が新しい同志として加わりました。市政への熱い思い、議会の健全化・活性化への強い思いをひとつにする私たちは、「志太創生会」の名の下に、志太地域の核都市「ふじえだ」の未来づくりに向けて再発進する誓いをいたしました。

3人寄れば…。3人が力を合わせフォローし合いながら、市民のために市政のために頑張っています。未熟な会派ではありますが、どうぞ、よろしく願っています。

六〇社中から志太創生会へ

3人寄れば…。会派として一歩一歩成長しています

第16期藤枝市議会議員として、新人でありながら遠藤久仁雄と平井登の2人は、市制60周年にあやかり会派「六〇社中」を結成いたしました。市民目線で新人らしく、ご支援いただくとともに、まに勇気づけられながら遮二無二に議会活動に取り組んでまいりました。

あれから2年半が経過した平成28年11月1日、2期7年目の小林和彦が新しい同志として加わりました。市政への熱い思い、議会の健全化・活性化への強い思いをひとつにする私たちは、「志太創生会」の名の下に、志太地域の核都市「ふじえだ」の未来づくりに向けて再発進する誓いをいたしました。

全国的に注視されている地方自治体議会における会派の「政務活動費」使途について、本市ではこれまでの収支報告や使途明細のインターネット公開に加えて、領収書の公開を行うことを昨年9月、5会派の代表者会議において全会一致で賛成し、27年度分からの領収書を10月末からネット上で公開しています。

これは県内自治体の議会では一番早いもので、透明性を高めることで使途に不正がないことを明らかにするためにあります。

本会派では、さらに市議会のホームページではわからない会派所属議員一人ひとりの行政視察や議員研修の報告を公開するとともに、会派の理念・指針に基づ



藤枝市議会では初！ 会派ホームページ開設

「市議会だより」や「市議会ホームページ」と併せてご覧いただけるよう、内容の工夫や充実にも努めてまいりますので、是非ご覧いただきたいと思っております。

づいた活動を市民の皆さまに知っていただくよう、会派ホームページを開設いたしました。

主なコンテンツ・メニュー

- ヘッダー画像 四季折々に美しい市内の風景写真
- 理念・方針 会派の目指す方向を明示
- 活動報告 代表質問・一般質問等の報告
- 行政視察 委員会や会派の視察・研修報告
- 予定・ご案内 当面の議会予定と案内
- 志太創生会報 会報の旧号PDF版を掲示
- 市議会ガイド 議会と議員の仕事を紹介
- 政務活動費報告 収支と使途明細の報告

過去最大! 500億8000万円

先駆的な政策・施策構築を推進

平成29年度
藤枝市予算
歳入と歳出

市長・執行部

『ふじえだ健康都市創生総合戦略』を確実に実現するための積極型予算。
市税、国の補助金などにより必要な財源は確保。市債残高も大幅に縮減!

一般会計 歳入 500億8,000万円 (対前年比 5%増)		
主な歳入予算の増減と要因		
市税	204億円	(対前年比+1.0%)
	家屋の新築、増築に伴う固定資産税の増	
地方交付税	30億6,000万円	(対前年比-1.9%)
	国の地方財政計画 (-2.2%) 相当分の減	
地方消費税交付金 等各種交付金	25億6,300万円	(対前年比-6.5%)
	国の地方財政計画に基づく減	
国庫支出金	65億9,460万円	(対前年比+0.2%)
	地方創生推進交付金、民生費負担金、補助金の増	
県支出金	33億5,847万円	(対前年比-2.6%)
	農林水産業費補助金、土木費補助金の減	
繰入金	21億7,500万円	(対前年比-14.4%)
	財政調整基金からの繰入の減	
寄附金	25億1,151万円	(対前年比+317.9%)
	ふるさと応援寄附金の増	
市債	39億4,320万円	(対前年比+22.9%)
	斎場建設事業負担の増、臨時財政対策債の増	
その他	54億7,422万円	(対前年比+4.5%)
	財産収入(土地売却収入)の増	

一般会計 歳出 500億8,000万円		
(性質別) 主な歳出予算の増減と要因		
人件費	60億3,649万円	(対前年比-0.7%)
	共済組合等負担金の減少による減	
物件費	59億4,567万円	(対前年比+6.1%)
	地方応援制度事業費の増、学校ICT環境整備事業費の皆増	
扶助費	99億 754万円	(対前年比+5.8%)
	保育給付費、生活保護費、放課後等サービス給付費の増	
補助費等	86億4,446万円	(対前年比+27.5%)
	志広組の負担金の増、クラウドソーシング推進事業費の皆増	
投資的経費	57億4,973万円	(対前年比+3.7%)
	三輪立花線道路整備事業費、駅北口駐車場整備事業費の増	
繰出金	48億7,381万円	(対前年比+3.4%)
	介護保険、後期高齢者医療特別会計繰出金の増	
公債費	51億2,254万円	(対前年比-4.8%)
	元利償還金の減	

■市債残高の見通し (一般会計・特別会計・企業会計の合計) 単位:億円

年度	20年度末	28年度末	29年度末	30年度末	31年度末	32年度末
合計	1,033.5	799.5	774.2	747.9	728.6	699.6

(3月8日~13日) 「予算特別委員会」において質疑した事業の抜粋

〈志太創生会の予算特別委員〉
小林和彦
平井 登

所管	事業名	質疑要旨	答弁内容
総務文教委 委員会	(質問者:小林委員) 2款 1項 総務管理費 5目 自治振興費 協働で元気なまちづくり事業費	本事業費の使用目的について、備品等も対象にしていくべきではないかと思うが制限はあるのか伺う。また、その点について自治会長、町内会長への周知はされているか伺う。	これまで別の補助事業で対応できるものや備品等は対象外としてきたが、今後は地区交流センターや自治会、町内会と話し合い備品もきめ拡大していきたい。
	(質問者:平井委員) 2款 1項 総務管理費 11目 企画費 子ども見守りサービス実証実験事業費	包括連携協定を結んだソフトバンクとの事業であり、IoT施策の皮切りとなるが新入学児童を現実実験の対象とするのは如何かとは思ふ。ところで、どのような方法で子どもの居場所を確認し保護者に知らせるのか、また、位置情報の精度やアプリの機能について伺う。	本市の小学一年生全児童(1,350人)を対象に、ランドセルにセンサーを付け、登校したことや下校したことを保護者のスマートフォンに知らせる機能である。細かい機能や精度についてはソフトバンクと協議・検討して、夏頃から希望する保護者に配布する。
健康福祉委員会	(質問者:小林委員) 3款 2項 老人福祉費 1目 老人福祉給務費 敬老の日記念事業費	各地域では、敬老の日に公民館等で敬老会を開催している中、75歳の方だけを対象に市民会館で敬老会式典を開催されているが参加者は非常に少ない。中止する考えはないか伺う。	市民会館での敬老会式典への参加率は28%と大変少ない。今後どうするかについては検討していくが、29年度はこれまでどおり開催する予定である。
	(質問者:平井委員) 3款 1項 社会福祉費 9目 生活困窮者自立支援費 生活困窮者自立支援事業費	自立支援相談の件数と対象者の年齢や家庭環境などの傾向を伺う。また、自立支援事業として、市が発注する公共事業に事業者の協力を得て就業意欲向上、雇用機会創出を図る取り組みができないか伺う。	29年2月末現在で年間374件の新規相談があった。40~50歳代で親への依存度が高い家庭環境において、両親の死亡に伴う就労相談、生活困窮相談が多い。公共事業での雇用については研究していきたい。
建設経済環境委員会	(質問者:小林委員) 2款 1項 総務管理費 8目 防災対策費 住宅内部耐震対策事業費	防災ベッドや耐震シェルターに対する補助金について、これまではその頑強な構造から、圧迫感があり設置希望者が少なく実績も乏しい中、補助金を増額した理由は何か伺う。	補助率を大幅に引き上げることで、個人負担分が少なくなる。それにより設置希望者、補助金申請者が多くなると思込んでおり、すでに数件の設置依頼がきている。
	(質問者:平井委員) 8款 4項 住宅費 1目 住宅管理費 子育てファミリー移住促進事業費	本事業は他市町から本市へ移住される子育て世代対象の助成制度ではあるが、本市から他市町への転出防止対策にはなっていない。子育て世代が流出しない対策も必要ではないか。	ご指摘のとおり、子育て世代が本市から他市町へ転出しない対策も並行して考える必要がある。次の施策として検討していきたい。

代表質問 一般質問

志太創生会

地方創生の強力推進に賛同!

若者世代の転出防止策に期待

教育、環境等の先進的事業には慎重かつ丁寧な取り組みが大切。
ICT施策展開の基盤「ひかり回線整備」は地域格差を生じさせない上で必須!

藤枝市における小中一貫教育の取り組み
小中一貫教育については、29年度から瀬戸谷地区を中心に、市内すべての中学校区で取り組みが開始されます。そして瀬戸谷地区での活動の中から、効果的で実施可能なものについて他地区にも広げていく計画です。

一貫教育を行う場合、施設一体型（同じ敷地内の校舎で小学生・中学生が活動）と施設分離型の2種類があります。勿論、施設一体型の方が望ましいのですが、これに要する経費のことを考えるとすべての地域での実現は困難です。一貫教育の成果としては、9年間を見通した指導体制が可能、異学年の交流による磨き合いなどがあります。

藤枝市でも、これまで中学生が小学生に合唱を披露したり、読み聞かせを行ったり、小中合同で授業研究を実施しています。さて、来年度瀬戸谷地区では、小学校高学年の理科や音楽の授業で、専任の教科担当教諭（多くは中学校教諭）が授業を行ったり、小学校3・4年生で、週1時間の英語活動が行われます。

しかし、これらも教える側の人員配置増がなくては不可能であり、現状の教員規模のままでは実施は難しいと思われま。瀬戸谷地区の小中一貫教育が成果を上げ、市内に広まることを期待します。

代表質問 遠藤久仁雄

代表質問をとおして、特に伝えたいこと、一緒に考えていただきたいことの3点



※本会派では代表者の任期を2年としていますが、「代表質問については議員が交互に行うようにしています。そのことから今回の代表質問には遠藤議員が行いました。」



待機児童解消のため、「ふじえだ子ども・子育てスマイルプラン21」に基づき、保育施設の建設が行われている。順調に進められ、認可保育所の建設は、28年度当初の1所に続き、29年度当初にも1所が開設される。幼稚園から認定こども園（幼児教育に保育機能を兼ね備えた）への移行は、29年度当初に1園が、30年度当初には計画を上回る3園が誕生する。地域型保育施設（小規模保育所）については、29年度当初で目標数24所を上回る26所が設置される。このように計画を前倒しして進めているが、近年、お母さん方の社会進出への希望が著しくなっている。市当局の努力は認められている。平成29年度がスマイルプランの中間年度に当たるので、現計画の検証と評価を行い、少しでも市民の皆様の希望に沿うような事業としていただきたい。

生ごみ分別回収
藤枝市は資源循環型社会の構築を目指し、市民の皆様が協力と呼び掛け、燃やすごみの減量化を推進しています。分別回収した生ごみは、民間業者の施設に運び、堆肥化して活用しています。

平成23年度に、藤岡地区の一部382世帯を皮切りに本計画が始まりました。その後、市内の5分の1に当たる1万52世帯まで拡大しましたが、平成27年になり、生ごみの処理を請け負っている業者のプラントシステムに不具合が生じ悪臭問題が発生したため、対象地区拡大の計画が頓挫しています。

本市は焼津市と共同で、平成32年に新しいクリーンセンター稼働の計画があり、それに向けさらにごみの総量を削減する必要があると見られます。将来的には全世帯の生ごみ分別化を目指すというところから、今のまま民間施設だけに頼っているのでは目標が達成できないと考えられます。新しい生ごみ処理の対策については研究が進んでおり、全国の公共団体でも優れた設備が導入されています。例えば、下水道施設を活用した方法やメタン発酵技術を伴う施設の設置、各家庭へのデイスポーター設置などの導入についても、真剣に考える段階に来ているのではないかと考えられます。

ICT教育が
順次予定される中、自宅での学習において通信基盤の違いにより生徒間に「学習能率格差」が生じる懸念を持つが如何か。

問 小中学校でのICT教育が順次予定される中、自宅での学習において通信基盤の違いにより生徒間に「学習能率格差」が生じる懸念を持つが如何か。

答 ひかり回線未整備地域において、ADSL回線の基地局からの距離による通信ロスやモバイル系通信の地形による影響調査等を29年度に行い、サテライトオフィス誘致や学習等、目的に応じた通信速度が確保できる通信手段を明らかにし、今後の事業展開につなげていく。

問 本市における情報通信基盤（光ファイバ回線とADSL回線）の整備状況を伺う。

答 本市北部の瀬戸谷、宮原、朝比奈地区の約1,700世帯（市全世帯の3%）には、ひかり回線は未整備だが、ADSL回線は市全域に整備されている。隣接する焼津市、吉田町、島田市、川根本町の光ファイバ網整備状況と整備計画を伺う。

問 包括連携協定を結んでいるソフトバンクには、ADSL回線よりも理論数値上、通信速度が優れているソフトバンク・エアという電波回線がある。しかし現在の通信エリアは、ほぼ国1バイパス以南である。交渉が出来ないか伺う。

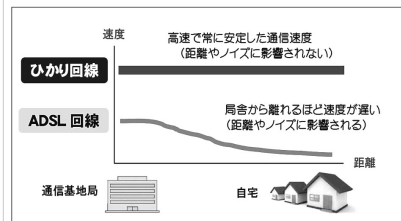
答 ソフトバンク・エアはワイルコム（Wi-Fi）のPHS電波を利用しており基地局から届く範囲が500m半径と短く、瀬戸谷や朝比奈地区の全世帯をカバーするには基地局整備費用が大きくなるかと想定される。かえって光ファイバ整備の方が事業費は少なく済むことも想定されるので、調べていきたい。

問 9月議会において、県の『光ファイバ網整備推進事業』の前提となる「光ファイバ地域整備計画」策定について質問したところ「財源の確保および整備手法を含め引き続き検討していく」と答えられたが、その後のように検討されたか伺う。

答 29年度の主要事業にあるICT施策を優先したが、今後は島田市の取り組みを参考に光ファイバ未整備地域への整備計画を前向きに研究・検討する。

一般質問 平井 登

ICT施策展開の盲点！
情報通信基盤の未整備がもたらす問題



■ひかり回線とADSL回線の性能比較
問 包括連携協定を結んでいるソフトバンクには、ADSL回線よりも理論数値上、通信速度が優れているソフトバンク・エアという電波回線がある。しかし現在の通信エリアは、ほぼ国1バイパス以南である。交渉が出来ないか伺う。

本市の課題を他自治体に学び、各委員会や本会議をとおして政策反映に努めています。また、議員に必要な知識習得とスキルアップに励んでいます。

常任委員会視察は2回、その他の委員会視察は1回、会派での視察は1回実施。志太創生会では、議員個々が希望する研修講座を受けさせています。

平成28年度 行政視察 議員研修 の報告

掲載したのは報告の一部です。
詳しくは会派サイトをご覧ください。

行政視察

《総務文教委員会・視察テーマ》
新見市ICT活用推進事業の取り組みについて
視察先 岡山県新見市教育委員会

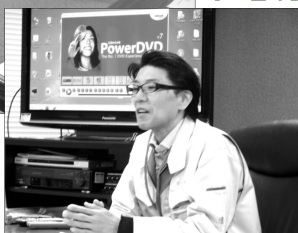
報告者 小林和彦



■調査内容をどう評価するか

平成22年に総務省のプロジェクトに参加し電子黒板やICT支援員を配置。翌23年にビューティースクール中学生部門に提案、この23、25年の実践実績をもって、26年度に生徒全員へのタブレット（アイパッド）貸与に至っている。

活用の特徴として、学習用端末を校内で自由に使えるよう指導している点、自宅への持ち帰りは週2回許可していること。また、アイパッドや電子黒板による双方向の授業ができることで、生徒はみんなの意見等が即座に見られ、相互理解が深まっているという



生徒の意見もあつたようだ。端末の初期設定については執行部が実施、3人で900台の設定で大変のようであった。

■今後の課題

アイパッドの導入により配布物が省けたり、授業の高能率化に繋がったり、デジタル機器の操作能力の向上にはなったが、学力向上に結びつく分析はできていないのが課題であり検証が必要である。

■本市に反映できると思う点

教育日本一を目指す本市の取り組みとして、ソフトバンクと提携した人型ロボット・ペッパーのプログラミング授業を市内の小中学校に導入し進めようとしている。新見市の取り組みとは違いがあるが、ペッパーの導入効果を期待したい。

■その他（感想、意見）
ICT教育の取り組みは、情報共有による円滑化や子供たちの学習意欲が高まる点など画期的ではあるが、私としては、人と人が触れ合い色々なことを議論したりする中で、学び育て、人間性を育むことの方が大切であると感じている。

《研修テーマ》
よくわかる市町村財政分析
講師 大和田一弘氏
NPO法人多摩住民自治研究所理事長

《研修テーマ》
議員の役割と議員活動の基本
講師 廣瀬和彦氏
元全国市議会議長会参事

予算・決算を始めとする財政全般が難しい。議員になって、痛切に感じたことの一つです。自分で学ぶ必要を感じて意欲的に挑んだ本講座でした。事前に用意した過去12年間の藤枝市決算カードや総務省提出の総括表等を持ち込んで、分析表への記入作業は休む暇なく延々と夜の7時過ぎまで続きました。

★歳入・歳出の仕組みを学ぶ
市民税と譲与税のほか、地方交付税の算出法について学習した。地方交付税を計算するのに「基準財政需要額」や「基準財政収入額」があることは事前に勉強していたが、各自治体でそれをいっ、どうやって算出するかということは今全く知らなかった。市役所職員の大げな仕事ぶりや交付税の仕組みが理解できました。歳出については、目的別歳出と性質別歳出、経常的経費と投資的経費を、決算カードから捉えることを学びました。

★地方交付税の仕組みを学ぶ
2007年度の地方交付税大改訂により、国が臨時財政対策債を発行することになった経緯や、その問題点について講師の先生から熱く語られました。本市の一般会計における地方債の半分以上が、この臨時財政対策債であることを、どのように捉えたらよいか、今後市財政を考

る上で注視点となりました。

廣瀬和彦氏による解りやすい説明と全国地方自治体における具体の事例を随所で上げられ、議員としてあるべき行動規範や規律等を学ぶことができた。

特に、★議員の役割と権限について廣瀬氏は、地方自治体議員の課題としては、①口利き②討議・議論の不足 ③監視機能・立法機関の一員としての役割の不十分さ ④住民から遠い地方議員、という4つの点について特に厳しい指摘をされた。

一方で、市議会議員の専門化は、平成21年の31・6%から平成27年には、40・5%へと進んでおり市民の厳しい視線を意識し、また直接選挙によって選ばれた住民の代表という自覚の裏返しとしてプロ化が求められていることも指摘された。

次に、★議会の権限の中で、選挙権について、議長・副議長の選出方法を立候補制にする自治体が増えつつあることを述べられた。全国813市での立候補制導入状況は、23・5%程度であるが、正副議長の選出過程の透明化を図り、議会および市政に対する市民の信頼を得るのが狙いであることから、今後は積極的に取り組むことが望ましいと述べられた。さらに議長任期について、1年任期では何もしないで述べても2年以上にすべきであるとも述べられた。

廣瀬和彦氏による解りやすい説明と全国地方自治体における具体の事例を随所で上げられ、議員としてあるべき行動規範や規律等を学ぶことができた。

特に、★議員の役割と権限について廣瀬氏は、地方自治体議員の課題としては、①口利き②討議・議論の不足 ③監視機能・立法機関の一員としての役割の不十分さ ④住民から遠い地方議員、という4つの点について特に厳しい指摘をされた。



HOT!news

「ふじえた花回廊」ギネス世界記録に挑戦
3,117mを達成
3月18日、蓮華寺池公園において、世界一長い花の列のギネス世界記録挑戦の審査結果発表式が行われました。
ギネス公式認定員から厳正なる審査の説明がされた後、結果を発表。2013年ウクライナの記録2,847mを優に更新する記録が認められました。認定証を受けた北村市長は「自治会、町内会、小学校、企業など約240団体もの植栽協力により成し遂げた、本市が一丸となった結果である」と関係者をねぎらいました。

議会雑観

「志太創生」という会派名は、私たちの理念そのものです。国内外の変化の激しい時代にあつて、地方自治体議員の責務は決して生半可ではありません。執行部と議会が適度の緊張感をもって施政し、市民に安心感と期待感をふくらませていけるよう、信頼に足る創造力と実現力を培養しなければなりません。（H）